

科目	生活行動援助技術Ⅱ				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義、演習	授業時期	1年
講師名	③八塚愛未 ③神野みのり				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	生活に必要な清潔・衣生活援助技術、排泄援助技術を学び、演習を通して単独で実施できるレベルまで到達できる。				
目標	1. 清潔の意義を理解し、対象の状況を考慮した全身の清潔方法を学ぶ。 2. 排泄の意義を理解し、排泄用具を使用した排泄の介助が出来る。				
授業計画					
回	内容				
1	清潔・衣生活援助技術 1) 清潔・衣生活の援助の基礎知識 2) 清潔援助の実施(入浴・シャワー浴、全身清拭、洗髪、手浴・足浴、陰部洗浄、整容、口腔ケア) 3) 衣生活援助の実際(病衣の選び方、病衣・寝衣の交換)				
2	排泄援助技術 1) 自然排泄の基礎知識 2) 自然排泄の介助の実際(トイレ、ポータブルトイレ、床上排泄、オムツ)				
3	排泄援助技術の実際(トイレ、ポータブルトイレ、尿器・便器)				
4					
5	清潔援助技術の実際(全身清拭・寝衣交換)				
6					
7	清潔援助技術の実際(洗髪・整容)				
8					
9	清潔援助技術の実際(口腔ケア)				
10	清潔援助技術の実際(手浴・足浴)				
11	清潔・排泄援助技術の実際(陰部洗浄・オムツ交換)				
12					
13	複合演習①全身清拭・寝衣交換・陰部洗浄・おむつ交換				
14					
15	筆記試験				
教科外	複合演習②ストレッチャーでのシャワー浴(15時間)				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り筆記・実技試験の受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験60%、複合演習①(実技試験)20%、複合演習②10%、レポート5%、オンライン教材を用いての課題取り組み状況5%を総合して評価する。 筆記試験60%以上の取得、かつ実技テストの合格、総合評価60点以上をもって単位取得とする。				
教科書	基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ:医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第3版:医学書院				